

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	キャリアデザインB		
英文授業科目名	Career Design B		
開講年度	2008年度	開講年次	2年次
開講学期	通年	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-自由科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	中野 和司		
居室	西2-323		

公開E-Mail	授業関連Webページ
info@crc.uec.ac.jp takeuchi@crc.uec.ac.jp nakano@ee.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>それぞれが自分自身の人生のビジョンを考え、生涯の仕事を含む人生そのものをこれからどのように生きていくかを考えることを主題とする。</p> <p>本講義を通して、自己の個性、価値観およびキャリアデザインの重要性を理解して目的意識を持つこと、あわせて発想能力の開発に継続的に取り組むことで、本学における勉学への高いモチベーションを持てるようにすることが本授業の達成目標である。</p> <p>また本講義を通じて、「社会人基礎力」における「考え抜く力」（シンキング）～疑問を持ち、考え抜く力～ の理解、および実践に向けた行動をとることができるようになることも目標とする。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
特になし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
キャリアデザインA

【教科書等】
<p>アイデアマラソンに関しては次の書籍（文庫）を使用する。</p> <p>樋口健夫 著 『「金のアイデア」を生む方法―“ひらめき”体質に変わる本』（成美堂出版）</p>

【授業内容とその進め方】

(1) 授業内容

授業内容は、担当講師・企業人講師による講義・ワークショップ、企業見学によって以下のように構成する。

1. ガイダンス
2. 自己の個性、価値観の理解（ワークショップによる体験型授業）
3. コミュニケーションスキル開発（ワークショップによる体験型授業）
4. プレゼンテーションスキル開発（ディベートの実施による体験型授業）
5. 発想能力の啓発（アイデアマラソン講座）
6. 職業理解1（企業人講師による講義）
7. 職業理解2（企業見学：夏休みの集中講義期間に開催）
8. キャリアデザインマップの作成
9. まとめ

(2) 授業の進め方

講義のほか、少人数でのディスカッションによるグループ討議（ワークショップ形式）などを適宜実施する。

なお、グループ討議には企業経験者のティーチングアシスタントが付き、討論の進め方などについてアドバイスや個別指導を行う。

夏休み（9月24日～30日）に企業研究・見学の集中講義を実施する。

(3) 授業時間外の学習

毎週講義レポートに対するコメント交換や、期間中に何度かワークシート準備、レポート作成などの宿題を出す。

また、ディスカッションに先立ちテーマを示すので、それに関する事前準備をしておくことが望まれる。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

〔評価方法〕

講義レポート(40%)、ワークショップへの参加と発言およびワークシートの記述内容(50%)、企業見学(10%)とする。その上で出席点としての減点（3回以上欠席した場合は、4回目からの欠席1回当たり5点減点）により総合的に評価する。

〔評価基準〕

講義を通じて作成するキャリアデザインマップを完成し、提出していることが単位取得の必須要件である。

以下の観点で、いずれもの能力が十分に確認できた場合に100点とし、部分的に不十分だがほぼ能力が認められれば60点とする。

(1) レポート：正しい日本語で自分の考えを論理的に記述し、自らのキャリアデザインについて考察した結果をまとめることができること。

(2) ワークショップ：主体的な参加、および他者との関係性を踏まえた発言ができること。さらにアイデアマラソンにおいては発想能力開発への継続的な取り組みが出来ること。

電気通信大学 平成20年度シラバス

(3) 企業見学：参加した当該企業の社会的役割、自分の興味との関係、などについて意見をまとめることができること。

【オフィスアワー：授業相談】

共同研究センター 3 階302号室で、竹内利明客員教授および担当講師が相談に対応する。

メールであらかじめアポイントメントを取ってから訪問すること。

メールアドレスは 竹内：takeuchi@crc.uec.ac.jp

また、各学生を担当する教務補佐員（TTA：チームティーチングアシスタント）による相談対応も行う。なお、TTAの割り当て、アポイントメントの方法などの詳細は講義において説明する。

【学生へのメッセージ】

夜間主コースの学生も希望すれば受講できる。

「社会人基礎力」については、以下に挙げる情報などを参照することで理解を深めておくことが望ましい。

- ・「社会人基礎力に関する研究会「中間とりまとめ」報告書の公表について」 経済産業省ホームページ（平成18年2月8日報道発表資料）

【その他】